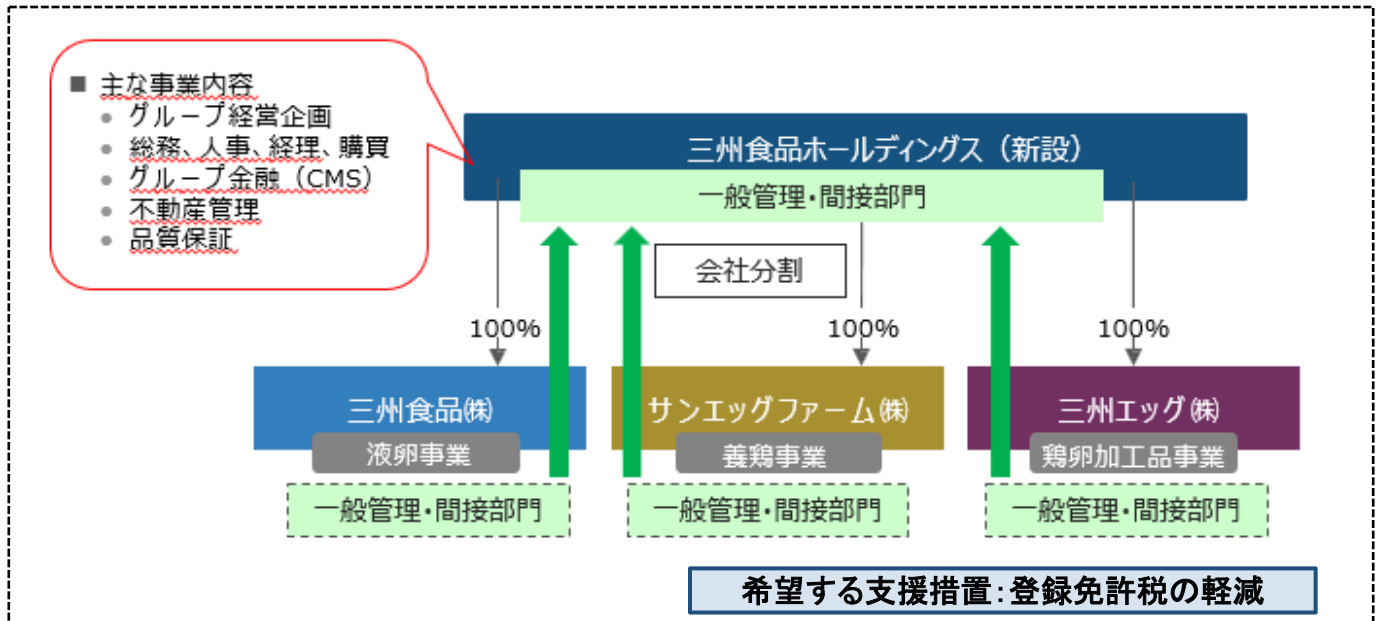


三州食品ホールディングス株式会社ほか3社の「事業再編計画」のポイント

三州食品株式会社、三州エッグ株式会社及びサンエッグファーム株式会社の一般管理・間接部門(経営管理、不動産管理、グループ品質保証)を、会社分割により、それらの親会社である三州食品ホールディングス株式会社へ承継を行う。

これにより、三州食品ホールディングス株式会社において一貫した品質管理体制の構築等、事業活動の一層の効率化を図り、子会社3社が原料卵の生産等の本業に注力することで、経営資源の最適配置、生産性の向上を図り、企業価値の更なる向上を目指す。



【生産性の向上】

- ・従業員1人あたり付加価値額を令和11年3月までに9.51%向上させる。

【財務の健全性】

- ・三州食品ホールディングス株式会社
有利子負債／キャッシュフロー ▲9.3倍、経常収支比率 160.0%
- ・三州食品株式会社
有利子負債／キャッシュフロー ▲3.1倍、経常収支比率 108.9%
- ・三州エッグ株式会社
有利子負債／キャッシュフロー ▲3.0倍、経常収支比率 123.4%
- ・サンエッグファーム株式会社
有利子負債／キャッシュフロー ▲3.2倍、経常収支比率 110.8%

【新商品の開発】

- ・新商品であるロングライフ商品当の高付加価値商品の売上高を、計画最終年度(令和10年度)において、総売上高比1%以上とする。

【計画の実施期間】

- ・令和8年4月～令和11年3月

様式第二十一（第13条関係）

認定事業再編計画の内容の公表

1. 認定をした年月日

令和8年3月26日

2. 認定事業者名

三州食品ホールディングス株式会社

三州食品株式会社

三州エッグ株式会社

サンエッグファーム株式会社

3. 認定事業再編計画の目標

（1）事業再編に係る事業の目標

（価値観）

三州食品株式会社（以下、三州食品）、三州エッグ株式会社（以下、三州エッグ）、サンエッグファーム株式会社（以下、サンエッグファーム）からなる三州食品グループは、「鶏卵の一貫生産体制を通じて、食文化の向上に努めてまいります」を企業理念に掲げ、雛の育成から養鶏、加工、販売までを手掛ける「Farm to Table」体制を基盤に事業を展開しています。

主要なお客様は食品メーカーや外食産業等の法人であり、BtoBビジネスを主軸としています。当社グループでは「ひとつづくり」「ものづくり」「仕組みづくり」を三本柱に、安全・安心な品質の追求と技術開発に取り組み、ゆで卵、液卵等の多様な鶏卵製品を、常に高いクオリティーで安定供給することを通じて、1949年の創業以来、日本の食文化の発展に貢献し、企業価値の向上を図ってまいりました。

（ビジネスモデル）

当社グループは、「Farm to Table」体制のもと、サンエッグファームが原料卵の生産を、三州エッグが鶏卵の選別や高度加工を行い、三州食品が液卵の製造のほか、グループ全体の技術開発や戦略的投資の意思決定を担う体制の下で、鶏卵製品の製造販売を行っています。一貫生産体制の強みを生かし、今後は、ロングライフ商品（従来商品よりも賞味期限が長いもの）の製造販売にも取組を広げたいと考えています。

一方で、現行の体制では、共通事務の重複（同種商品を各社で発注することによる購買力の低下）や、品質管理が統一できていない（ロングライフ商品の製造に不可欠な原料卵の品質管理を各事業会社に徹底できていない）等の課題が生じています。そのため、事業再編により、共通事務や品質管理の一元化を実現し、既存商品に加え、新たにロングライフ商品の製造販売を目指します。

（戦略）

当社グループは、株式移転により新たに三州食品ホールディングス株式会社（以下、HD）を設立し、HDを完全親会社とする持株会社体制へ移行します。それに加えて、会社分割により、三州食品、三州エッグ、サンエッグファームの一般管理・間接部門（経営管理、不動産管理、グループ品質保証）、購買部門を、HDへ移転集約します。

この再編により、HDは、グループ全体の経営戦略策定機能を有するとともに、一般管理部門や品質管理部門等を集約することで、HDの策定した方針の下で、各事業

会社が本業の生産事業に集中できるようになります。特に、HDが集約購買を行うことによる効率化や、品質管理を一元的に担うことにより、原料卵の高度な品質管理が必要なロングライフ商品の製造販売を行うことを可能とし、グループ全体の生産性の向上と安定供給を目指します。

(持続可能性・成長性)

ロングライフ商品は、既存商品の顧客から要望を受けるなどニーズが高く、当社グループの事業基盤の強化につながります。また、ロングライフ商品の製造に必要な高度な品質管理の技術は、ロングライフ商品以外の高機能商品への応用も可能です。

生産面においても、賞味期限が短い既存商品主体の製造では、季節変動における稼働効率の低下が生じていましたが、ロングライフ商品の導入で製造を平準化し、生産性の向上が図られます。また、生産・流通工程における在庫管理の適正化が進むことで、フードロス削減を可能にする持続可能な製造販売モデルへと転換することが可能となります。

(ガバナンス)

本事業再編計画の実施に当たり、HDを監督部門、各事業会社を執行部門とする権限と責任の分離を徹底し、事業再編計画の進捗状況を適時適切にモニタリングできる体制の構築に努めます。

(2) 生産性及び財務内容の健全性の向上を示す数値目標

計画の対象となる事業の生産性の向上としては、HD、三州食品、三州エッグ及びサンエッグファームをあわせて、2028年度には2025年度に比べて、従業員1人あたり付加価値額を9.51%向上させることを目標とします。

財務内容の健全性の向上としては、2028年度において、HDについては、有利子負債はキャッシュフローの▲9.3倍、経常収支比率は160.0%、三州食品については、有利子負債はキャッシュフローの▲3.1倍、経常収支比率は108.9%、三州エッグについては、有利子負債はキャッシュフローの▲3.0倍、経常収支比率は123.4%、サンエッグファームについては、有利子負債はキャッシュフローの▲3.2倍、経常収支比率は110.8%、となる予定です。

4. 認定事業再編計画に係る事業再編の内容

(1) 事業再編に係る事業の内容

①計画の対象となる事業

養鶏事業、液卵・鶏卵加工品事業、販売事業

<選定の理由>

養鶏事業、液卵・鶏卵加工品事業、販売事業は、雛の育成から養鶏、加工、販売までを手掛ける一貫生産体制「Farm to Table」の中核であり、本事業再編後においてもその重要性には何ら変更はなく、引き続き当社グループの成長を加速し、持続的な発展を実現するために不可欠な事業であるため。

②実施する事業の構造の変更と分野又は方式の変更の内容

当社グループは、2026年1月13日付で新たにHDを三州食品との株式移転により設立し、加えて2026年4月1日付で、会社分割の手法により三州食品、三州エッグ及びサンエッグファームの一般管理・間接部門（経営管理、不動産管理、グループ品質保証）に関する事業及び購買部門をHDへ移転します。

なお、当該事業再編計画による生産性の向上は当該事業分野における市場構造に照らしても持続的なものと見込まれます。

また、当該事業分野は過剰供給構造にはなく、さらに一般消費者及び関連事業者の利益を不当に害するおそれがあるものではありません。

(事業の構造の変更)

- ・会社分割による一般管理・間接部門（経営管理、不動産管理、グループ品質保証）及び購買部門の移転、不動産の移転

〈分割会社〉

名称：三州食品株式会社
住所：愛知県小牧市大字大草字檀ノ上5447番地の6
代表者の氏名：代表取締役社長 岩月 顕司
資本金：90,000,000 円

〈分割会社〉

名称：三州エッグ株式会社
住所：愛知県小牧市大字大草字檀ノ上5447番地の6
代表者の氏名：代表取締役社長 岩月 顕司
資本金：20,000,000 円

〈分割会社〉

名称：サンエッグファーム株式会社
住所：愛知県岡崎市保久町字須之山1番地1
代表者の氏名：代表取締役社長 岩月 顕司
資本金：10,000,000 円

〈承継会社〉

名称：三州食品ホールディングス株式会社
住所：愛知県小牧市大字大草字檀ノ上5447番地の6
代表者の氏名：代表取締役社長 岩月 顕司
分割前の資本金：10,000,000 円
分割後の資本金：10,000,000 円
分割予定日：2026年4月1日

(事業の分野又は方式の変更)

現在は、各事業会社が原料卵の生産から商品の製造までを連携することでゆで卵などを製造販売しています。HDに一般管理部門や品質管理部門等を集約する事業再編を行うことによって、グループ全体の品質管理の向上を図り、これまで取扱いのなかったロングライフ商品の製造販売を行います。以上の構造および方式の変更により、2028年度には、ロングライフ商品等の高付加価値商品の売上高を4億円（グループ全売上高の1.0%）とすることを目標とします。

(2) 事業再編を行う場所の住所

愛知県小牧市大字大草字檀ノ上5447番地の6
三州食品株式会社

愛知県小牧市大字大草字檀ノ上5447番地の6
三州エッグ株式会社

愛知県岡崎市保久町字須之山1番地1
サンエッグファーム株式会社

愛知県小牧市大字大草字檀ノ上5447番地の6
三州食品ホールディングス株式会社

(3) 関係事業者・外国関係法人に関する事項

該当なし

(4) 事業再編を実施するための措置の内容
別表1のとおり

5. 事業再編の開始時期及び終了時期

開始時期：2026年4月

終了時期：2029年3月

6. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数 (2026年3月末時点)

三州食品ホールディングス(株) 0名

三州食品(株) 306名

三州エッグ(株) 272名

サンエッグファーム(株) 125名

(2) 事業再編の終了時期の従業員数

三州食品ホールディングス(株) 34名

三州食品(株) 278名

三州エッグ(株) 282名

サンエッグファーム(株) 125名

(3) 事業再編に充てる予定の従業員数

三州食品ホールディングス(株) 34名

三州食品(株) 278名

三州エッグ(株) 282名

サンエッグファーム(株) 125名

(4) (3)中、新規採用される従業員数

三州食品ホールディングス(株) 0名

三州食品(株) 95名

三州エッグ(株) 95名

サンエッグファーム(株) 39名

(5) 事業再編に伴い出向又は解雇される従業員数

出向予定人員数 なし

転籍予定人員数 なし

解雇予定人員数 なし

7. その他

該当なし

別表 1

事業再編の措置の内容

措置事項	実施する措置の内容及びその実施する時期	期待する支援措置
<p>法第 2 条第 17 項第 1 号の要件</p>		
<p>ロ 会社の分割</p>	<p>〈分割会社〉 名称：三州食品株式会社 住所：愛知県小牧市大字大草字檀ノ上5447番地の6 代表者の氏名：代表取締役社長 岩月 顕司 資本金：90,000,000 円</p> <p>〈分割会社〉 名称：三州エッグ株式会社 住所：愛知県小牧市大字大草字檀ノ上5447番地の6 代表者の氏名：代表取締役社長 岩月 顕司 資本金：20,000,000 円</p> <p>〈分割会社〉 名称：サンエッグファーム株式会社 住所：愛知県岡崎市保久町字須之山 1 番地 1 代表者の氏名：代表取締役社長 岩月 顕司 資本金：10,000,000 円</p> <p>〈承継会社〉 名称：三州食品ホールディングス株式会社 住所：愛知県小牧市大字大草字檀ノ上5447番地の6 代表者の氏名：代表取締役社長 岩月 顕司 分割前の資本金：10,000,000 円 分割後の資本金：10,000,000 円 分割予定日：2026年 4 月 1 日</p>	<p>租税特別措置法第 80 条第 1 項第 6 号（会社分割に伴う不動産の所有権の移転登記等の税率の軽減）</p>
<p>法第 2 条第 17 項第 2 号の要件</p>		
<p>イ 新商品の開発及び生産又は新たな役務の開発及び提供による生産若しくは販売に係る商品の構成又は提供に係る役務の構成の変化</p>	<p>本事業再編を通じて確立する持株会社体制のもと、HDが司令塔としてグループ横断的な戦略の立案および購買、品質保証業務を担い、事業会社と密接に連携して執行にあたることで、高付加価値戦略と生産体制の最適化を同時に推進する体制を構築し、グループ連携による新商品の開発・生産・販売に着手します。</p> <p>その中核に据えるのが、既存顧客のニーズが高く、かつ国内外での市場拡大が見込まれる「ロングライフ商品」です。通常、鶏卵加工食品において長期保存と安全性を両立させることは困難ですが、本再編によりHDへ購買・品質保証機能を集約し、戦略と執行の高度な連携を推進します。これにより、雛の育成・採卵から鶏卵の選別・出荷、さらに加工品の開発・製造・販売に至る全工程において「Farm to Table」一貫生</p>	

		<p>産体制のシナジー効果を最大化し、高度な品質管理に基づいたロングライフ商品を実現することで、新商品の売上拡大を目指します。</p> <p>以上の構造および方式の変更により、2028年度において、新商品の売上高を4億円（グループ全売上高の1.0%）とすることを目標とします。</p>	
--	--	--	--